

年

組

番

名前

教材8

(2)

読む

次の文章を読みましよう。

題名 えんぴつけずりの

わたしたちはえんぴつを毎日使っています。えんぴつをけずるときには、えんぴつけずりを使います。えんぴつけずりには、どのようなしゅるいのもがあるでしょう。

一つ目は、えんぴつをえんぴつけずりにさしこみ、ハンドルを手で回してけずるものです。電気を使わないので、どの場所ばしょに移動いどうしても使うことができます。

二つ目は、電動でんどうのもので、あなにえんぴつをさしこむだけで、かんたんにえんぴつをけずることができます。

三つ目は、小型こがたのえんぴつけずりです。ふではこの中にも入って持ち歩くこともできるので、いつでもえんぴつをけずることができて便利べんりです。

このように、えんぴつけずりにはいろいろなしゅるいがあります。えんぴつけずりがなかったころは、小刀やカッターを使ってえんぴつをけずっていたそうです。とてもむずかしそうですね。

この文章は「はじめ」「中」「おわり」の三つのまとまりで書かれています。

書かれている内容	手がかりになる言葉
<p>はじめ</p> <p>何について書いている文章かを示しています。問いかけの文が入っている場合は、これから「このことについて話題にします」ということを示しています。</p>	<p>どのようなであろう。</p> <p>が</p>
<p>中</p> <p>話題にする内容をくわしく書いています。「はじめ」に質問する文が入っている場合は、その質問の答えが書かれています。</p>	<p>一つ目は</p> <p>二つ目は</p> <p>三つ目は</p>
<p>おわり</p> <p>この文章のまとめになっています。書いている人の意見や考えが書かれている場合もあります。</p>	<p>このように</p>

(1)この文章を「はじめ」「中」「おわり」の部分に分けましょう。
 文章の のまとめりを次の表に書き入れましょう。

はじめ	中	おわり

(2) 文書の中には、三種類のえんぴつけずりについて書かれています。それぞれのえんぴつけずりを、絵と結びましょう。

の二つ目のえんぴつけずり

・

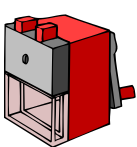
・



の二つ目のえんぴつけずり

・

・



の三つ目のえんぴつけずり

・

・



(3) この文章では、小型のえんぴつけずりはどんなことが便利だと書かれていますか。

--

(4) この文章は何について書かれた文章ですか。題名を書きましょ。

題名 えんぴつけずりの
